

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 たけのこクラブ高砂

保護者等数(児童数) 39 回収数 26 割合 66%

		チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	84%	8%	0%	8%	あまり見ていないですが子供は満足そうです	仕切り等での空間の確保、戸外活動などを活用しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0%	0%	0%	いつも沢山いてくれる。	常に基準を上回る人員を配置しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	23%	23%	31%	23%		利用児童が必要な際は設置検討致します。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	100%	0%	0%	0%	はい、そう思います。	担当者会議等にて児童の現状を把握分析しています。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	92%	8%	0%	0%		個別での活動プログラムを取り入れています
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16%	16%	38%	30%		必要な際は機会を設けて活動していきたい
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		契約時丁寧に説明させて頂いています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	92%	8%	0%	0%	言語聴覚士さんからのアドバイスを共有し迅速に支援頂きました。	定期的に言語聴覚士を招いた相談会をおこなっております。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		相談に応じて適時支援を行っております。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38%	16%	23%	23%		どんたく等のイベントによる連携の機会を設けております。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	84%	16%	0%	0%		苦情等の問題が出た際は全スタッフで共有し再発防止に努めています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		口頭や日誌等常に意志疎通に努めています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	0%		毎月行事予定表を配布し、緊急の事項についてもプリントを配布しております。
	14	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%		十分に注意して取扱いしております。
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	76%	16%	0%	8%		保護者様へのわかりやすい周知・説明に努めています。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	61%	16%	0%	23%		年2回定期的に実施しております。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	92%	8%	0%	0%		今後も楽しめる環境作りを続けていきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		満足度が高まるよう努めていきます。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名

たけのこクラブ高砂

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	利用者の特性に合わせてスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	規定以上の人員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0%	100%		必要な際は設置検討していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	90%	10%	毎月スタッフミーティングをおこなっている。	ミーティング等に参加できなかった際も書面等で周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	意向をふまえ、改善につとめている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	施設及びホームページにて告知している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	臨床心理士による療育会を行い個別相談を受け付けている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎月スタッフミーティングを行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	担当者会議やモニタリングを行い計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	社内共有のアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	スタッフミーティングや状況に応じて必要な時に行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	スタッフミーティング等で議題に上げ意見を取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	宿題や全体イベント等、日々に応じた支援を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	各児童の状況に合わせて計画作成を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	開始前、終了後に行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	その日の問題点や改善について情報を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	児童毎に日誌に記録し支援の改善や変更に応用している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングを実施しサービス計画に反映している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	60%	40%	各ガイドラインをスタッフへ周知している。	各スタッフへ周知徹底していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	常駐の児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校訪問やトラブル対応など情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	必要な児童に対して連絡体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	情報提供があれば行う。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		必要に応じて連携していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		機会があれば交流していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		必要に応じて参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日誌や口頭にて発達状況の共通理解に努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	保護者向けの療育会を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に丁寧な説明を行っている。	契約時に丁寧な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談受付体制を整え状況に応じた助言や支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	70%	30%		全体イベント等で交流・連携を支援していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設置し迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月行事予定表を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	施設内で厳正に管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	各児童の状況に合わせて情報伝達への配慮を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		地域との交流も検討していきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		職員への周知と同様に保護者への周知を徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練等を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	スタッフミーティングにて情報収集及び周知徹底を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束が必要な場合は必ず説明了解を得て計画書へ書き添している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	必要な児童に対し個別に対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットファイルを作成し情報共有している。	